



# まつもと公設民営バス

～持続可能な地域公共交通～

●問い合わせ 公共交通課（東庁舎4階 TEL34-3033 F 34-3202）

【市ホームページ】



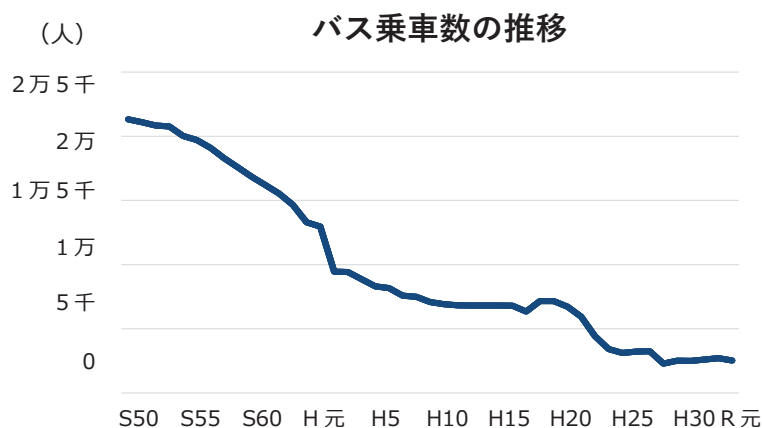
松本市では、行政が路線バスの新しい制度設計や効率的な路線の再編、運賃体系などを設計（マネジメント）し、民間事業者が運行業務やサービスの提供を行い、将来にわたり市民の足を持続可能なものとする、公設民営化事業を進めます。

## なぜ今、公設民営化が必要？

利用者が年々減少している路線バス事業は、全国的にも民間事業者だけで維持していくことが困難で、行政が多額の補てんをしています。

松本市の路線バスの利用者数は減少し続けていて、「利用者減」→「収入減」→「減便」「廃線」→「更に利用者減」・・・といった負の連鎖が起きています。

行政が関わり、地域の足をオーバーホール（見直し）することで、地域コミュニティの崩壊を防ぐ狙いもあります。



## 松本市内を走るバス

（令和4年1月現在）



### 路線バス（アルピコ交通）

【運行地区】松本市内



### 市営バス

【運行地区】奈川、四賀



### タウンズニーカー

【運行地区】松本駅周辺



### 地域バス

【運行地区】  
入山辺、中山、本郷、波田など



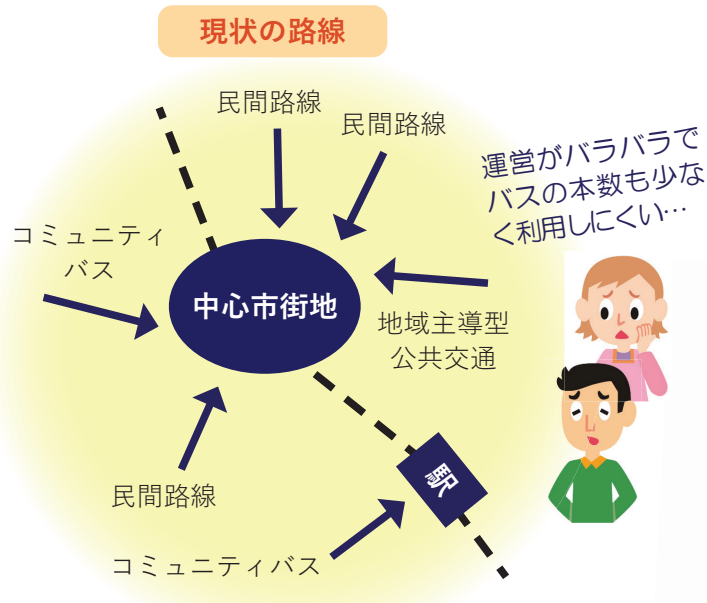
### 西部地域コミュニティバス

【運行地区】  
島内、新村、南松本、新村、  
梓川、波田、村井、平田

## 公設民営化でどう変わる？

松本市が路線バス事業に大きく関わることで、**エリア全体を一体的に捉えた交通ネットワークの再編**や**乗り継ぎしやすさ**など、利便性を向上させて市民の足を確保しながら、将来に渡って路線バスが維持できるようにするものです。具体的には、**利用の少ない路線の廃止**や、**利用しやすい運賃体系やキャッシュレス化**などを行います。

また、地域の皆さんと話し合いながら、地域の実情に合わせたバス以外の少量移送サービスを整備し、皆さんの『**ラスト・1 (ワン) マイル**』を確保します。



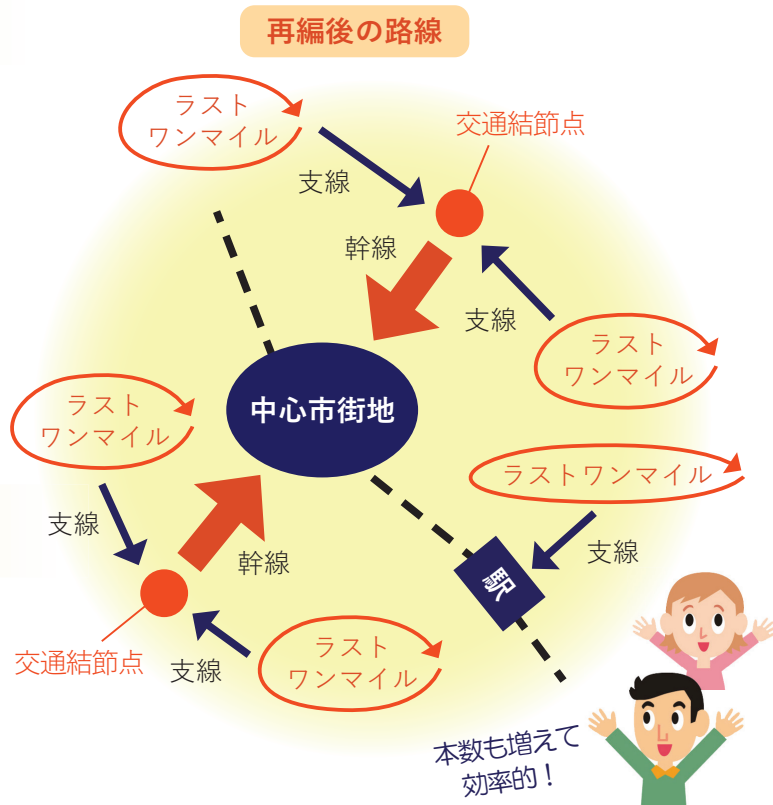
## バスを使わない人は関係ない？

いえいえ、そんなことはありません。**将来、自動車の運転ができなくなったとき**にバスがなかったら…と想像してみてください。バス路線を新たに作るのは容易なことではありません。将来を見据えて地域に定着するバス路線を考えることが大切です。

今ある路線を残すためには、ある程度の**乗車数を維持**する必要があります。普段バスを利用しない方も、将来のためにどうしたら利用しやすくなるかということを、今から考える必要があります。

## いつから公設民営化になるの？

令和4年3月までに、市民の皆さんからご意見をお聞きし、公設民営化に向けた計画を練ります。その後、新たな運行制度への法的手続きなどを進め、**令和5年4月の運行開始**を目指します。



あなたの「こうした方が良い」を聞かせてください！

申し込み  
不要

## まつもと公設民営バス 意見交換会

市内6会場（主にコミュニティバスの運行地域）で意見交換会を開催します。申し込みは不要です。お気軽に参加いただき、皆さんの要望や意見をお聞かせください。

日時	会場
令和4年1月21日（金） 午後6時～	松本市総合社会福祉センター 大会議室
1月24日（月） 午後6時30分～	第3地区公民館 大会議室
1月25日（火） 午後7時～	寿公民館 大会議室
1月26日（水） 午後6時～	波田公民館 大会議室
1月30日（日） 午後1時30分～	岡田公民館 大会議室
2月10日（木） 午後6時～	島内公民館 講堂

宮之本副市長に  
お聞かせください

